

カンガルーシップ活動 共生プロジェクト参加感想

提出日	平成30年1月22日
学校名	京都教育大学附属幼稚園

- ・日本の昔話だったのでよかったです。
- ・面白かったです。特にピノキオとおじさんのやり取りが楽しかったです。
- ・挨拶をピザと言ったりスパゲッティと言ったりとお笑いな所が面白かったです。
- ・人形劇を見るのは初めてだったのですが人形に紐がついていて動きの説明も良くわかったみたいです。3名で劇が出来ることすごいと思いました。昔ながらの舌切り雀を面白さを入れながら、飽きさせないように見せてくださり楽しませて頂きました。
- ・何本もの糸を操り、人形を動かしていることを子供に説明してもよくわかっていなかったのですが、ピノキオで操作の仕組みを説明して下さったので理解できたようです。
- ・よく知っているお話だったので余計に楽しめました。
- ・特別支援学校の方が同じ附属の人だとお話をしたら、今度幼稚園に来るかな、大きいお兄ちゃんみたいこと言いました。
- ・子供目線ではお話が少し怖かったように思います。終始笑えるお話がよかったです。
- ・冒頭のピノキオ挨拶から、巧みな人形の動きに驚き、親子共々すっかり見入ってしまいました。日本の原風景や昔からの言葉など伝統芸能の要素が盛り込まれていて大人が見ても飽きない糸操り人形劇でした。
- ・4歳の娘が1時間落ち着いて鑑賞出来るか不安でしたが、全くの杞憂でした。何度も大声で笑い楽しみ、周りの園児の反応もすごく良かったのが印象的でした。帰宅後は家にあった操り人形キットを作成し、人形作りも楽しみました。これまでは本を読むまででしたが、作りたいとなったので本物を見ることで刺激を受けたのだなあと思いました。
- ・色々な種類のオバケが出てきて楽しかったです。
- ・操り人形の意味が分からなかったけど、手やひざに紐がついている、それをおじさんが紐を動かして人形が動くんだということが分かった。
- ・細やかな動きが本当に素晴らしかったです。
- ・おばあさんのキャラクターと動き、技術が素晴らしかったです。オバケの人形がうまく作られているなあと思いました。
- ・特別支援学校の方に初めてお会いしましたが、子供も知らなかったので説明したらなんとなくですが理解したようです。

カンガルーシップ活動 共生プロジェクト 実施報告書

報告日 平成 30 年 1 月 22 日

主管学校名 京都教育大学附属幼稚園

PTA 会長名 北野 貴之

実施概要	主管校	京都教育大学附属幼稚園
	交流校	京都教育大学附属特別支援学校
	実施活動名	親子鑑賞会
	実施日時	平成 29 年 11 月 27 日
	実施場所	京都教育大学講堂
	実施目的	特別支援学校の生徒や教員を音楽会に招待し、共に鑑賞を楽しみ感動を共有する。また附属の仲間である特別支援学校の存在を知り、親しみをもつ。
	実施内容	親子でプロの糸あやつり人形劇をみて、人形劇への興味をもち、鑑賞時のマナーなども身につける。
	実施方法	幼稚園が企画した親子鑑賞会に、特別支援学校小学部生徒と教員を招待する。
	参加人数	京都教育大学附属幼稚園 園児と保護者 129 組 教員 11 名 京都教育大学附特別支援学校 小学部児童 18 名 教員 10 名

報告事項	内容	京都教育大学講堂に集合し、園児は親子で席に着き、特別支援学校児童を紹介してもらう。今回は糸あやつり人形劇団みのむしをお招きし、日本に古くからある「舌切りスズメ」を演目に糸で動く糸あやつり人形の昔話を鑑賞する。
	結果	<ul style="list-style-type: none"> ・あやつり人形のピノキオとおじさんが楽しくやり取りをしながら、あやつり人形の動きの説明をして下さいました。 ・演目「舌切りスズメ」のあやつり人形劇では、昔ながらのお話にアレンジを加えたものになっていました。意地悪ばあさんが、大きなつづらを家に持ち帰るまでの道のりが長く、その道中に出てきたろくろ首や一つ目小僧や鬼が子どもたちにはとても怖かったようでしたが、何とか無事に帰れて、苦労して持ち帰ったつづらの中身が大きな石だったという結末に大声で笑っていました。 ・附属幼稚園の園児と特別支援学校の小学部の生徒さんも、大きな声で笑ったり、時には怖くて泣いたり、とても楽しい時間となりました。
	所感	附属幼稚園の園児と特別支援学校小学部の児童と一緒に人形劇を鑑賞することで、それぞれの存在を知り共に喜び楽しみ、心豊かに過ごす時間を共有することができました。また、親子で隣の席に座り幼稚園とは違う大学の講堂で劇を観る特別な日にもなりました。鑑賞会が終わり帰る時には、附属幼稚園の園児と特別支援学校小学部の児童が手を振り合って笑顔でお別れすることができました。



カンガルーシップ活動 共生プロジェクト参加感想

提出日	平成30年1月22日
学校名	京都教育大学附属幼稚園
学年	年長・年中・年少

- ・ピノキオとおじさんのやりとりがたのしかった。
- ・したきりすずめはこわかった。
- ・オバケがでてきたり、くらくたからこわかった。
- ・ピノキオが「ぼく、にんぎょうなの？ ガーン。ショックだからたてない」がおもしろかった。
- ・ろくろくびがでてきたところと、ちいさいおにがおもしろかった。
- ・かっぱのおしっこにびっくりした。もういっかいみたい。
- ・こわいとおもしろいのがまざってたのしかった。
- ・こわいところもあったけどたのしかった。あやつりにんぎょうつくりたい。
- ・オバケこわかった。でもあかちゃんのおにさんはかわいかった。
- ・おばあさんにすずめさんがしたをきられたのがこわかった。ろくろくびのおばけがくびがのびておもしろかった。
- ・こわくなかったよ、おもしろかったな。
- ・たのしかったけどちょっとこわかった。
- ・つづらからつけものいしがでてきてびっくりした。
- ・がいこつがはなれたりくっついたりしたのがおもしろかった。
- ・きんのおのとももがながれてきて、えほんでよんだしたきりすずめとおはなしがちがった。
- ・きからびゅーんとおばけがでてきておもしろかった。